

議 事 の 経 過

【開催日時】 令和2年10月2日（金）午後1時30分～午後2時40分

【場 所】 坂戸市役所201会議室

【出席者】 委員13名中13名 アドバイザー欠席

【傍聴人数】 1名

【議 事】

- (1) 坂戸市障害者計画等実施状況（令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画）について
- (2) 障害者福祉に関するアンケート調査報告について
- (3) 坂戸市障害者計画・坂戸市障害福祉計画（第6期）・坂戸市障害児福祉計画（第2期）に係る骨子案について
- (4) その他

【配布資料】 資料1～3 坂戸市障害者計画等実施状況（令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画）について

資料4～6 障害者福祉に関するアンケート調査報告について

資料7 坂戸市障害者計画・坂戸市障害福祉計画（第6期）・坂戸市障害児福祉計画（第2期）に係る骨子案について

資料8 障害者計画等事業実績等に対する意見・質問

資料9 今後のスケジュールについて

参考資料 坂戸市における障害者の推移 他

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	委嘱状の交付 1. 開会 2. あいさつ 3. 会議の公開 ※傍聴者1名 4. 協議事項 議題（1）坂戸市障害者計画等実施状況（令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画）について

事務局	※資料 1～3、資料 8 に基づき説明
会長	続けて、議題（2）について事務局から説明願います。
	議題（2）障害者福祉に関するアンケート調査報告について
事務局	※資料 4～6、資料 8 に基づき説明
会長	資料内容について、意見、質問をお願いします。
	議題（3）坂戸市障害者計画・坂戸市障害福祉計画（第 6 期）・坂戸市障害児福祉計画（第 2 期）に係る骨子案について
事務局	※資料 7 に基づき説明
会長	資料内容について、意見、質問をお願いします。
委員	<p>資料 7 P 2 0 ⑤障害児支援の提供体制の整備等について、医療的ケア児が適切な支援を受けられるように、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関が連携を図るための協議の場の設置について、実績として「未構築」となっていますが、今後構築していく予定はありますか。</p> <p>また、アンケートにも記載がありますが、資料 6 P 8 7 の中で「障害の早期発見・早期療育はとてよいか、言葉の教室に参加して終わりという感じで、そのあとどうすればよいか、一貫した支援体制が必要」という意見があります。坂戸市には色々なサービスがありますが、情報がわからず、個々の親御さんからすると何を使っているのか、この時期に何をすればという情報が行き届いていないと思います。自分も児童の支援をしていますが、連携や協議の場がないと感じます。</p> <p>また、1 歳半健診や 3 歳児健診等のスクリーニングの場もありますが、早期発見しても連携・情報の共有が必要と切実に思っています。他市の方が連携できていると感じます。</p>
事務局	<p>いただいた御意見について、今後とも参考にさせていただきます。</p> <p>関係機関の協議の場については、次期計画での目標として、3 年後には設置と記載することになると思います。</p> <p>協議の場の設置方法については、既に、サービス事業所の横の連携を作るための「総合支援協議会」というものがあり、これまで近隣の市町と共同で協議会を開いていましたが、昨年度から坂戸市単独で設け始めたところです。今後、医療的ケア児の協議の場や、精神障害者</p>

の地域包括ケアシステムの横のつながり等をこの協議会と絡めつつ、連携してやっていくことが重要な論点だと思っております。新型コロナウイルスの影響で今年度総合支援協議会がまだ開催されていない状況ですので、これらの在り方については、今後内容を検討しながら進めていきたいと考えております。

児童の支援については、個別支援も重要であり、市内4箇所に相談支援事業所を設置しているところです。相談支援事業所やケースワーカーと連携しながらやっていただけたらと思います。

議事（4）その他について

会長

委員の皆様から、意見があればお願いします。

委員

ほかの委員もおっしゃっていたとおり、横の連携について、福祉の方は児童発達支援センターや相談事業所、放課後デイと連携できていますが、幼稚園や保育園のように課をまたぐと、同じ坂戸市民であっても連携が取れていないと感じます。サービスや交流の場は5年、10年前と比較し増えてきていますが、横が連携して情報を共有・発信というものは少ないと感じます。その点について、例えば、市役所が障害者福祉課や保育課、教育委員会と連携し、交流、意見交換会を設けていただけるとありがたいと思っております。自分は、幼稚園や保育園、小学校の先生が、障害者を理解できる場を作れないかと考え、様々な方に参加いただけるような勉強の機会を設けたり、障害者がステージに立ち様々なパフォーマンスをして活躍している姿を見ていただいたり、一緒に動き体験しながらスポーツや絵を描いていただいたり、障害者福祉課に御協力いただき、昨年開催しました。こういったものが横に、縦に発信できれば、色々と変わってくると思います。実際、幼稚園や小学校の先生と話すとき皆さん興味はあるようで、特に発達障害児等との関わり方を知りたいと話しています。知識としては、県の研修会等が企画されていますが、実際に関係者同士が顔を合わす機会が無いと、連携が上手くいっていないと感じていますので、そういった場の提供を市に後押ししてもらえるとスムーズに連携がいくと思います。当事者の保護者が行っているものもありますが、それを発信できないというのが、情報を知っているがゆえに歯がゆいところであり、力を入れて取り組んでいただきたいです。

事務局

御意見ありがとうございます。

児童をはじめ、高齢者、課をまたぐ横連携は必要だと感じています。また、それらを計画にのせられるよう、今後も努力してまいります。

委員	<p>中学校で図書館のボランティアをしています。特別支援学級の子どもたちとも関わりがあり、先生方が努力しているのがよくわかります。色んな子どもたちがいますが、みんな一緒なんだよという教育をされていてらっしゃいます。</p> <p>また、障害のある子ども、障害のない子どもと一緒に受ける授業もあれば、難しいときは支援学級に入って授業を受けていることもあり、支援学級の子どもを差別せず、生徒たちがお互いに相手の立場を理解し、思いやりが生まれていると感じます。小中学校が良い教育をしており、人間としての教育をしているなと思います。支援学級の先生もそうでない先生も一緒に取り組んでいるので、引き続き頑張っしてほしいです。教育の場は捨てたものではないと思います。</p>
事務局	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>前回の計画は載せていませんでしたが、学校教育について、今回の計画では特別支援学級の人数や教室数を載せることにしました。教育の分野でも、インクルーシブ教育を推進しており、障害のある方もない方も共生社会という視点の下、教育をしているのが現状であります。貴重な御意見を伺ったので、教育の分野にはお伝えしていきたいと思えます。</p>
委員	<p>5年目以上の保育士が受ける研修会があり、一番人気のある講座は、障害児保育や発達障害児の理解という研修です。坂戸市内に限りませんが、現場の先生方が関心を持って取り組んでいるという状況が大きくなっているという風に感じます。</p>
委員	<p>先ほど小中学校は良くおっしゃっていただきましたが、それ以前の幼稚園、保育園の時から、障害のある子どもと関わっていくことが大事だと思います。ただ一緒に過ごせばいいというわけではなく、支援員の役割も大きいと思います。支援員の支えを受けながら、お互いに理解できるような関係を幼児教育時から作ってほしいと感じます。</p>
事務局	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>小さいうちからインクルーシブ教育が大事ということはよく理解しておりまして、各幼稚園保育園に障害のあるお子様への支援策として、相談員を年2回派遣させていただいております。今後とも続けさせていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールについて</p> <p>※資料9に基づき説明</p>

- ・次回審議会は、令和2年11月4日（水）13時30分～
- ・12月以降の審議会日程は、決定次第通知をする。

5. 閉会

以上